

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はぐハウスⅡ		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 1日		2026年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日		2026年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 5月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療的ケア児の受け入れが出来る	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児受け入れの看護師配置があり多職種により専門的支援が受けられる。 ・医師との連携が取れている為保護者様が安心して利用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的支援加算により支援の充実を図る。 ・福祉サービスについての知識、技術を深め、家族の相談や助言が行えるよう努める。
2	多職種な専門性を持つ職員が子どもたちの支援に関わる体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士、理学療法士、看護師がそれぞれの専門性を生かして個々に合わせた支援を行っている ・多職種で連携を図り同じ方向性をもって支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も多職種連携を継続し、よりよい支援に繋がるよう取り組む。
3	職員が外部や内部研修を受講する機会や法人内等で研修に参加できる機会が確保されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・研修参加出来るよう業務調整を行い研修機会の確保に努めている。 ・計画的に内部研修を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を受けた職員よりが伝達研修を行い、職員の質の向上を目指している。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士が顔を合わせる機会が少ないこと ・保護者、ご兄弟が参加出来るイベントが出来ていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者交流会、参観など開催を考え、保護者同士での関わりを提供していく。
2	地域の場の活用、地域との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設や公園、地域に出かける機会を持っているが地域の場の活用、子どもとの交流する機会が出来ていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベント情報を収集し、参加出来る機会を増やす。 ・地域との交流の方法を検討していく。
3	・訓練等実施していることの発信	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS等の発信の機会が中々出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Instagramなどを通じて保護者の方への取り組みを発信していく。